



令和 6 年度

栗東市農業政策に関する要請について

本市の農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化や後継者不足、さらには、生産資材価格の高止まりに加えて農産物価格への適正な価格転嫁が進んでいないことにより農業経営は一段と厳しさを増しています。

このような中、国では、農産物の適正な価格形成に向けた仕組みづくりや、食料や生産資材の輸入依存脱却などを盛り込んだ「食料・農業・基本計画」の改正に向けて取り組んでおり来年 1 月の通常国会において法案が審議される予定となっております。

農業は、国の政策により大きく左右されることから、農業者が将来に希望を持ち、持続的かつ発展性のある農業経営のため、長期的な観点と実効性のある政策と支援が必要です。

つきましては、農業者が安心して農業を営むことができ、市民が「農」に携わることができる施策を進められるよう、必要な農業施策の実現を要請いたします。

令和 5 年 11 月 21 日

栗東市議会議長 上田 忠博 様

滋賀県農政連盟栗東支部
支部長 山元 新之介



要請事項

(1) 肥料等の生産資材価格の高騰対策について

肥料価格高騰対策事業では、肥料価格の高騰による農業経営への影響を緩和するため、市独自事業として農業者に対して、肥料コスト上昇分の1割の補填を実施して頂きました。しかしながら、肥料製造コストや流通経費の上昇により、依然として肥料価格は高止まりが続いています。今後も肥料価格の高止まりが想定されることから、状況の変化に応じた将来にわたり効果が持続するよう中長期的な市独自の支援策を講じていただくよう要請致します。

(2) 担い手となる農業者の確保

地域計画の策定では、目指すべき将来の農業のあり方と農地利用の姿を明確にすることとなっておりますが、農業者の高齢化、減少に伴い、どの地区においても中心経営体が不足する状況にあることが想定されます。農業従事者の減少に歯止めをかけ、将来の担い手が確保できる制度の構築について要請致します。

(3) 農地の基盤整備に係る予算確保について

農地に係る基盤整備は農作業の効率化や経営規模拡大に効果的であり、農地集積や耕作放棄地対策としても重要です。については、効率的な農業経営ができるよう畦畔撤去や用水路等の農業環境の整備に対する支援とその予算の確保について要請致します。

(4) 多様な担い手へのきめ細かな支援について

高齢化による集落機能の低下に加えて、耕作放棄地遊休農地の再生・活用等の課題が山積するなか、地域によっては閉塞感が高まっている状況にあります。将来に向けてこの地域を活性化し、農業生産活動を継続して行くためには、多様な担い手が互いにしなやかで強いつながりを築くことが重要になります。については、作業期に応じた人材派遣や、地域の女性農業者の活動推進など、この取組みをマネジメントできる人材育成も含め、きめ細やかな支援策を講じられるよう要請致します。

(5) 鳥獣被害対策について

獣害防止柵の設置は各集落で講じられ、設置に係る費用補助をしていただいておりますが、地域での有害鳥獣を捕獲するための従事者を増やすことは、有害鳥獣の個体数を減らすとても重要な取り組みだと考えます。農業者の営農に対する意欲が衰退することがないように、引き続き支援助成を継続いただくよう要請致します。